

# Newsletter

会員の皆様、こんにちは！庶務担当の丸山です。いつもは会誌の後半にひっそり(?)と綴じられている Newsletter ですが、今回は大会期間中の総会で承認された事項などを含め、皆さまにいち早くお知らせしておきたい内容がございましたので、電子版を発行させていただくことになりました。

お陰さまで9月8・9日に早稲田大学で開催された第7回研究大会も盛況のうちに終わることができました。並行セッションを設けず、参加者がすべての発表に耳を傾けることができるという実施形態は、本学会が一貫して採用してきたスタイルです。今回も多彩な研究成果を披露していただき、本学会の魅力を十分に堪能することができました。さらなる盛り上がりを目指して、これからも皆様のご協力をお願いいたします。この Newsletter は、会員同士の活発な情報交流の場としてぜひご活用いただければと思います。

今年の夏は災害と酷暑に見舞われ、まだ予断を許さない状況の地域もございます。会員の皆様のご無事をお祈りしております。

## 報告事項

### 日本生態心理学会 理事会

I. 【定例】2018年9月7日(金) 18:00-20:00 於：早稲田大学(早稲田キャンパス9号館第3会議室)

出席者：青山慶, 染谷昌義, 廣瀬直哉, 古山宣洋, 野中哲士, 丸山慎, 右田正夫, 三嶋博之

審議事項(議長：丸山理事)

1) 会計収支(2016・2017年度)および2018年度予算案  
・会計監査後の修正資料をもとに、2016年度、2017年度の収支報告書、2018年度予算案を承認した。

修正箇所 以下2点

① 2016年度 収支報告書(“生態心理学研究” vol. 10, p. 41)  
支出の部「雑費 事務局人件費」70,000を90,000に修正

② 2017年度 収支報告書(“生態心理学研究” vol. 11, no. 1, p. 64)  
支出の部「雑費」に「会誌送付代 945」を追加

2) 会計監査報告および監査委員の選出(次回以降)について

・山本尚樹 会計監査委員により指摘された項目を確認(上述)

・次期会計監査委員として山本尚樹会員を推薦し、2018・2019年度の収支報告書の監査を依頼する。

3) J-Stageの運用について(編集:染谷理事)

・vol. 11, no. 1を2018年度中に掲載・公開する予定。会誌掲載のために必要な作業、予算について審議され、以下3点が決定した。

① 掲載に必要な書誌XMLファイルへの変換・編集の仕事は文成印刷(現在、会誌印刷をしている印刷会社)に委託する。委託費用が発生する。

② ファイル変換後に生じるバグ(文字化け、固有名や書誌情報の誤り等)の修正作業のためアルバイトを雇用する。ただし作業量・アルバイト代の見積りのため、初回掲載時は編集委員長が作業に当たる。

③ 最新号とバックナンバーを順に掲載・公開し、2024年(6年後)までにすべてのバックナンバーの掲載を終える(予定)。

・J-Stageヒアリングシート届出の確認

① 最新号刊行後6ヶ月を経て年度内に掲載・公開。

② オープンアクセスを原則とする。

4) 学会会則の施行細則の変更について

・学会会則の施行細則のうち以下の3点を変更する。

① 第2条 年会費 学生会員会費を年間3,000円から2,000円とする。

② 第7条 事務局 第1項 事務局所在地 の変更

③ 附則 第1項 第7条第1項 事務局所在地の変更 は理事会の決議のみで可能とする。

5) 学会運営について

・被災された会員の会費免除措置について

学会会則の施行細則第2条 年会費に「会費の納入に係る特例措置(激甚災害で被災した会員の年会費の免除措置)」を設け、被災された会員を学会としてサポートする。申請にかかわる書類は、学会ホームページから所定の書式ファイルをダウンロードして作成のうえ、学会事務局に提出してもらう。

・次回研究大会について

ICPAの開催年との関係で第8回大会は2021年(3年後)に開催する。2019年、2020年は大会に準じるイベント(シンポジウム等)を企画・開催する。2021年の開催校は第7回大会参加者に打診し検討する。

6) 総会での議題・進行の確認

7) その他

・三嶋代表が2018年度で任期2年を満了となる。次期代表について審議し、三嶋代表が再任することとなった。

## 報告事項

1) 会誌の進捗状況(編集 染谷理事)

・vol. 11, no. 1, no. 2の予定通りの刊行

## 日本生態心理学会 総会

I. 2018年9月8日(土) 11:30-12:30 於：早稲田大学(早稲田キャンパス7号館205教室)

審議事項(議長 丸山理事)

1) 会計収支報告(2016, 2017年度)および会計監査報告  
山本尚樹会計監査委員による報告、一部修正をした2016年度、2017年度収支報告書が提示され承認された。

2) 2018年度予算案

2018年度予算案が承認された。

3) 会計監査委員(2018, 2019年度 1名)の選任について  
山本尚樹会員が理事会により推薦され承認された。

4) 学会運営について

・被災時の会費免除措置およびこれに伴う、学会会則施行細則の変更について

三嶋代表より、被災時の会費免除措置を講じることが説明された。それにもなって、学会会則の施行細則第2条 年会費に「会費の納入に係る特例措置(激甚災害で被災した会員の年会費の免除措置)」を設けることが承認された。

・学会会則施行細則の変更について

以下の3点の変更が承認された。

① 第2条 年会費 学生会員の会費を年間3,000円から2,000円へ。

② 第7条 事務局 第1項 事務局所在地 東京大学佐々木研究室から玉川大学佐藤研究室へ。

③ 附則 第1項 第7条第1項 事務局所在地の変更：総会ではなく理事会の決議のみで可能とする。

・次期学会代表について

三嶋博之理事が2019~2020年度の代表として再任

することが理事会で決議されたと報告された。

- ・ 次回大会および関連企画について  
古山理事(企画)より、ICPAの開催年との関係で第8回大会は2021年(3年後)に開催すること、また2019年、2020年は大会に準じるイベント(シンポジウム等)を企画・開催することが説明された。

5) その他

- ・ 編集  
染谷理事(編集)よりJ-Stage利用について報告。1) 会誌 vol. 11, no. 1 を2018年度中に登載・公開、2) 6年後までにバックナンバーすべてを公開、3) 最新刊刊行後6ヶ月を経てオープンアクセスにて公開
- ・ 企画  
右田理事(企画)より今年2月に実施されたワークショップについて報告。会員企画によるワークショップの応募依頼がなされた。

その他のお知らせ

I. 研究大会開催

2018年9月8日(土)9日(日)に、第7回日本生態心理学会大会を開催いたしました。会員・非会員合わせて70人が参加し、盛況のうちに幕を閉じました。ご参加

いただいた皆様、ありがとうございました。

日時: 2018年9月8日(土) 9:30-18:15, 9日(日) 9:00-16:00

会場: 早稲田大学, 早稲田キャンパス 7号館 205, 207 教室

大会実行委員長: 古山宣洋

実行委員: 右田正夫, 三嶋博之

II. “生態心理学研究”掲載論文の投稿受付

“生態心理学研究”掲載の論文投稿を随時受け付けています。査読を経て受理となりました論文から、順次、発行時期の近い巻に掲載させていただきます。投稿の詳細は学会誌表2を参照ください。編集: editor@jsep-home.jp

III. 会員企画

会員の皆様からの企画案を随時受け付けています。企画担当理事(古山, 右田)までご連絡ください。

IV. 事務局から

宛先不明のため会誌を送付することができない会員がいらっしゃいます。お心当たりの方は事務局までご連絡下さい。



(第7回大会写真 撮影者: 三嶋博之)